



交通死亡・重体事故現場診断に参加

交通重体事故現場診断に参加

熱海地区

日時 令和7年1月31日（金） 10:00～10:40

場所 熱海市下多賀地先 国道135号線上横断歩道

概要 本年1月19日午後6時20分頃、熱海市下多賀地先の信号のない横断歩道において発生した、軽自動車と高齢歩行者の交通重体事故の現場診断に熱海地区安全運転管理協会から小原会長と事務局長の2人が参加しました。
現場診断では、熱海警察署の交通課担当者から事故状況の説明を受けた後に、事故の防止策を検討しました。



交通死亡事故現場診断に参加

磐田地区

日時 令和7年1月24日（金） 10:00～10:45

場所 磐田市勾坂上地先 市道交差点

概要 1月1日、一時停止の標識のある十字路交差点において、軽四自動車と普通自動車が出会い頭に衝突し、軽四自動車の後部座席に同乗していた60代男性が車外に投げ出されて死亡した交通事故の現場診断に、磐田地区安全運転管理協会から鈴木会長と土屋事務局長の2人が参加しました。
事故現場の状況確認の後、事故抑止対策について検討を行い、参加者からは、「交差点手前に速度を抑制する」「一時停止場所であることを認識させる」などの対策が必要との意見があがりました。その他、広報啓発活動の強化などの意見もあり、警察からは交通安全教育、交通取り締まりの強化などの対策が示されました。



交通事故現場診断及び広報啓発活動の実施

清水地区

日時	令和7年1月8日（水） 10:30～11:00
場所	静岡市清水区相生町地先 路上
概要	<p>清水警察署は、昨年12月30日、清水区相生町地先の路上で発生した交通事故の現場診断を実施し、地元自治会や道路管理者等関係機関・団体が参加しました。清水地区安全運転管理協会からは、栗田事務局長が参加しました。</p> <p>現場診断では、警察から事故発生時の状況等について説明を受け、発生現場を確認したのち、問題点や改善方策などについて討議を行いました。</p> <p>事故は、令和6年12月30日（月）午後8時頃、国道149号線上の信号交差点において、南進走行中の軽四貨物自動車（20代男性）が、青信号に従い交差点に進入し、東進横断中の歩行者（40代男性）と衝突し、歩行者の男性が亡くなったもので、歩行者の横断した道路には、地下道は設置されていましたが、横断歩道は設置されていませんでした。</p> <p>参加者からは、「片側2車線の国道を横断する人が・・・」「運転者はどうしたら・・・」などの声も聞かれましたが、「道路は危険な場所、どこに危険が潜んでいるか分からない」「かもしれない・・・と、危険予測運転をするよう呼び掛ける」などの意見も出されました。</p> <p>清水警察署管内では昨年、道路を横断中に3人の方が亡くなっており、いずれも車両運転手から見て「右から左」への横断でした。</p>

